



# とわだ ③

平成28年度 十和田市立第一中学校

「つなげよう ふるさとの未来へ」

## 立志式



### 目次

**特集 日本一事業**

ふるさとを愛する心を育む ..... 2

十和田市体育・スポーツに関する表彰 ..... 8

十和田市農業賞／窓口の時間延長と  
臨時開設を行います ..... 9

男女共同参画市民情報誌ゆっパル第33号 ..... 18



商店街見学 (みぞぐち布団店)



アイマスクをして歩く「視覚障害」体験と介助者体験



# ふるさとを愛する心を育む

特集  
日本一事業

市では平成26年度から、各学校の創意工夫を生かした学校づくりを目指して、「日本一を目指した特色ある教育活動の推進事業（以下：日本一事業）」を行っています。この事業を通じて、市内の小・中学校では独創的なテーマを掲げ、日本一を合言葉に活気あふれる教育活動を展開しています。今号は、その中から三本木小学校と第一中学校の取り組みをご紹介します。



と わだ すぎ のこ こ こ はふる さと

## ふるさとの歌を作ろう

日本一事業2年目となった今年度は、1年目に学習したふるさとの良いところを詩にして、その詩に曲を付け、ふるさとの歌を作ることにしました。まず4月から6月にかけて、作詞を行いました。昨年度学習して心に残ったこと、願い事などを一人一文、五・七調または七・五調で考え、用紙に記入していきました。次に学年ごとに全て掲示して、気に入った文に児童がシールを貼って投票しました。そして、多くシールの付いた何点かの作品をもとに教職員が詩を組み立てました。1番は「現在」、2番は「過去」、3番は「未来」の詩で構成されています。7月からは、教職員がこの詩にメロディーを付けました。印象に残る一文をサビの部分に生かしてハーモニーを付け、2部合唱にしました。この歌の名前は「たからもの」。歌詞の中に本市の宝物がたくさん詰まっているからです。お披露目は、10月22日に同校体育館で行われる音楽発表会となりました。学級で全校で歌の練習がいよいよ始まりました。

## ふるさと力日本一

### 三本木小学校

11月14日、三本木小学校（福寿邦彦校長）音楽部の児童たちが市役所を訪れ、同校で作ったふるさとの歌「たからもの」を小山田市長の前で発表しました。

昨年度から日本一事業に取り組み同校は「ふるさと力日本一の学校」を目指しています。この「ふるさとの歌」づくりは、同校の「杉の子学習」の発展学習として行われました。

### 杉の子学習でふるさと探究

同校では、「杉のように真っすぐに育ってほしい」という願いを込めて、児童を「杉の子」と呼び、同校の総合的な学習を「杉の子学習」と名付けています。この杉の子学習では、各学年ごとにふるさとを探究する体験活動が行われています。

1学年は、地域の公園散策や昔遊び体験を通してふるさとに触れ、2学年は、農業体験や商店街見学を通して現在の本市を探究します。3学年は、「十和田市じまん人調べ」や南部裂織体験を通してふるさとの誇りを学び、4学年は、稲生川見学や十和田湖・奥入瀬溪流散策を

通して、ふるさとの歴史と自然を学びます。

5学年は、福祉体験やユニバーサルデザインの学習など、人にやさしいまちを通してふるさとの未来を見つめ、6学年は、「十和田市PR大作戦」と称し、これまで学習してきたふるさとの魅力を発信するパンフレットづくりを行います。

金田睦子教諭は、次のように学習の効果を話します。「この学習を通して児童は、ふるさとに関心をもち、ふるさとを興した先人の思いを受け継ぎ、愛着心と誇りを育むことができます。また、さまざまな体験や人との関わり合いの中で、自己の生き方を見つめることができます」。



昔遊び体験で竹馬を教えられる児童

南部裂織体験で、みんなで織った卓布

～ふるさと力日本一の学校をめざして～

# たからもの

平成28年度十和田市立三本木小学校  
作詞 全校児童・職員  
作曲 職員

一 春を知らせる さくら道  
わくわくいっぱい 美術館  
ラララ 世界にひとつ さきおりと  
光る十和田湖 たからもの  
風（風）さわやかに 人（人）えがお  
水（水）きよらかに 緑 もゆ  
十和田 ふるさと 美しいまち

二 むかしのあそび 伝えよう  
開拓だまし 受けつごう  
ラララ 恵みの水を ありがとう  
稲生川は 愛つなぐ  
風（風）さわやかに 人（人）えがお  
水（水）きよらかに 緑 もゆ  
十和田 ふるさと 馬かけるまち

三 季節いろいろ 駒街道  
アート広場で 夢語ろう  
ラララ 思いやりある この街は  
ぬくもりあふれて すてきだよ  
風（風）さわやかに 人（人）えがお  
水（水）きよらかに 緑 もゆ  
十和田 杉の子 こころはふるさと  
十和田 杉の子 こころはふるさと

みんなで歌おう

待ちに待った音楽発表会当日、会場は保護者、杉の子学習でいろいろなことを教えてくれた人など、たくさんの人で埋め尽くされました。やがて、全校児童549人が整列すると、ピアノの前奏に続いて、体育館いっぱいには児童たちのはつらつとした歌声が響き渡りました。

♪春を知らせるさくら道  
全校児童が心を一つに、歌詞の一文一文に思いを込めて歌います。合唱が終わると会場からは割れんばかりの拍手。感動して涙を流す人もいます。児童たちの顔は、誇らしげにキラキラと輝いていました。

杉の子学習で児童たちに裂織を教えた南部裂織保存会の小林輝子会長は「南部裂織が児童たちに『たからもの』と認められました。こんなにうれしいことはありません」と目を潤ませました。

最後に総務委員の畑中常似くんが「『たからもの』は全校みんなで歌詞を考えて作った僕たちの歌です。僕たちはこれからもこの歌を『たからもの』にして頑張っていきます」とあいさつしました。

この歌は、6年生の卒業共同制作として同校に残され、記念行事などで歌い継がれていきます。



♪歌は、同校ホームページで聞くことができます（パソコンのみ）。  
[http://www.sanbongisyo-towada.jp/99\\_blank.html](http://www.sanbongisyo-towada.jp/99_blank.html)

小川紗彩さん  
（6年・総務委員会委員長）



「杉の子学習では、十和田市ならではのものにたくさん触れることができました。この歌を地域のの人に知ってもらって、十和田市はいいところだという気持ちをもっと大きくなればと思います」



中村航大くん  
（6年・総務委員会副委員長）

「歌を作ることで、十和田市のいいところを改めて考えることができました。十和田市は自然も豊かで地域の人たちも優しい。将来も、十和田市に住んで、よい良いまちにしていきたいです」

奉仕の心（志） 日本一

第一中学校

第一中学校（新戸部一弘校長）の日本一事業は、平成26年度から「奉仕の心（志）日本一」を目指して学習活動を展開。テーマは、1年目の「あいさつ・清掃・親切」から始まり、「誰かのために・ふるさとのために」へと取り組みの広がりを見せていきます。

現在の3学年が1学年の時から、「ふるさと学習」が総合学習として始まりました。1学年時はふるさと調査、2学年時は修学旅行でのPRなどのプロジェクト活動、3学年時には、自分の進路や生き方の探究など3年間を通して、地域社会とのつながりの中で、将来の生き方について考えていきます。

ふるさと調査団出動

今年度、1学年は、青森市のファクトリーやアスパムなどを訪問し、「市や県の商品がどのように販売されているか」をテーマに調査。道の駅奥入瀬ろまんパークに対し、地元食材を使った新メニューやPOP広告で特産品をPRするなどの活性化の提言を行いました。

1・3学年は「未来への架け橋講

座」で、地元で活躍するさまざまな職種の人から仕事内容やふるさと貢献などについて話を聞き、将来の仕事への期待を膨らませました。

このほか多数生徒が「十和田湖マラソン大会」のボランティア活動に参加するなど、地域を学びの場として、さまざまな経験を重ねています。

アモーレ十和田湖プロジェクト

2学年は、修学旅行で本市のPR活動を行っています。今年度は、十和田湖を中心としたPRを行い、この活動を生徒たちは「アモーレ十和田湖プロジェクト」と名付けました。プロジェクトではまず、ヒメマス養殖場を見学したり、十和田湖畔の土産店の人や観光客にインタビューをしたりして、十和田湖の良いところやPRしたいことを考えました。

次に、PR活動で配布するポケットティッシュペーパーとポスターを制作しました。どちらも自分の選んだ写真に、魅力的なキャッチフレーズを考えて入れ、パソコンを使ってデザインしました。そして、他学年の生徒などを相手にグループでPRの模擬練習を行い、気付いた点を話してもらって改善していきました。

修学旅行初日の11月9日、2学年22人は、都内にある3つの本県アンテナショップ（あおもり北彩館、北

市内小・中学校が目指す日本一事業の取り組み 指導課 ☎ 2309

日本一事業は、各学校の創意工夫を生かした学校づくりに対して、その経費を負担し、日本一を目指した特色ある教育活動を推進することを目的として、平成26年度から始まりました。1校当たりの事業期間は3年です。

2年目（平成27年度開始）	三本木小	ふるさと力日本一の学校	3年目（平成26年度開始）	北園小	国際化に対応する学校日本一
	南小	日本一の ㊦とめあい ㊦かよく ㊦んな楽しい 学校		ちとせ小	心に響くいい声日本一
	東小	美しいあいさつ日本一の学校		西小	言葉を大切にする学校日本一
	藤坂小	ふるさとを愛する学校日本一		高清水小	俳句日本一 ～四季を感じて 五・七・五～
	洞内小	「ほうないの心」で、日本一ふるさとを大切にする学校		深持小	日本一本好きな子どもがあふれる学校
	松陽小	元気な学校日本一		下切田小	出会い、ふれ合い「自分に気づき将来をつくる」体験活動日本一の学校
	沢田小	郷土を愛する子ども日本一		四和小・中	こころの輝き日本一
	法奥小	郷土を愛する心日本一の学校		十和田中	日本一健康で前向きな生徒の育成
	十和田湖小	五感を使う心に残る感動体験日本一～十和田湖自然体験活動を中心に～		甲東中	表現力の豊かな学校日本一
	三本木中	おもてなし日本一の学校		大深内中	地域に貢献する学校日本一 ～駒踊りとボランティアを通して～
東中	学校行事と生徒会活動を基盤とした日本一の集団づくり	第一中	奉仕の心（志）日本一		
切田中	未来世界の課題を解決する日本一の生徒				
十和田湖中	日本一地域に密着した学校 ～十和田湖と地域とともに～				

1校当たり3年間の事業費は、大規模校（300人以上）は100万円、中規模校（30人以上299人以下）は80万円、小規模校（29人以下）は60万円を上限としています。

ポスターを見せながらPR。見知らぬ人に声を掛けるのは勇気が必要です。



声を掛け、立ち止まって話を聞いてもらう。これが結構難しい



配布した自作のポケットティッシュペーパー

折田瑛菜さん（あおもり北彩館）



「十和田湖に興味を持ってくれる人が多くてうれしかったです。また十和田湖の魅力伝える機会があったら、私と思う十和田湖について伝えたいです」

金澤未有さん（北のプレミアムフード店）



「最初は声を掛けるのが怖かったけど、だんだんと笑顔で大きな声でできるようになりました。バラ焼きを食べた人が来てくれました」

戸館悠斗さん（県特産品センター）



「十和田湖に来たことのない人や十和田湖冬物語を知らない人が多かったため、もっと十和田湖のことを広めたいと思いました」

## 立志式 ～つなげよう ふるさとの未来へ～ より



いしくらげんき  
石倉元希さん  
優しく強い保育士になりたい

### 子ども十和田PR隊を結成して地元をPR

保育園や幼稚園にポスターを貼って、ボランティアとして5、6歳の子もたちを集め、「子ども十和田PR隊」を結成します。PRする人は大人が多いので、子どもがPRを行えば、面白さ、かわいらしさ、珍しさで観光客が増えると思います。また、子どもたちも早くから市の良いところを知ることが出来ます。子どものPRで市が有名になってほしいです。



おがさわらきょうた  
小笠原聖太さん  
不動産関係の仕事に就き、まちの空き家をなくしたい

### ペットと共に田舎暮らしでPR

都会のペット好きな60歳以上のの人に、インターネットで「十和田でペットと共に暮らしませんか」と宣伝します。ペットと一緒に移住してきた人には、高級ペットフード3カ月分をあげたり、ペットと飼い主の交流会を開いたりします。十和田市は、畑や田んぼに囲まれ、自然豊かなので、ペットとの暮らしに適していると思います。全国にPRして、人口減少に歯止めをかけ、市を盛り上げたいです。



たかひらきら  
高瀬輝空さん  
外国の方と関わるような仕事したい

### 十和田の自然を欧米と十和田の架け橋に

欧米からの観光客が少ないので、欧米からの観光客に向けた市の自然を巡るツアーを企画します。ツアーは、年に4回。桜の4月、夏休みで訪れやすい7月、紅葉の10月、雪の2月です。桜、紅葉、雪は欧米では見る機会が少ないのでとても喜ばれると思います。欧米を中心とした外国の方からも認められるようなまちにしたいです。



たかぶらむ  
高瀬果夢さん  
みんなを笑顔にする仕事したい

### 運動をしてみんな健康でい

市の平均寿命を伸ばすために、運動イベントをたくさん行います。若者は積極的に運動しない人が多いと思うので「恋活系スポーツ」というイベントを考えました。これは、スポーツを楽しむながらも、恋を交わらせることができるというイベントです。これにより、市民の幸福度も上がり、「変わったスポーツがあるまち」と注目されると思います。市民がいつまでも健康でいられるようにしたいです。

自分の半生や思いを熱く語ってくれたゲストの二人



村上さん



松石さん

2月3日、同校で1・2学年を対象に「移住者さんと語ろう」が行われました。ゲストは、長崎県出身でファッションデザイナーの松石優美さんと、北海道出身で十和田湖・奥入瀬渓流などでネイチャーガイドをしている村上周平さんです。松石さんはまず、自分の仕事について説明。ファッションショーの写真を見せると、生徒は「カッコいい」と声を上げ、目を輝かせました。東日本大震災をきっかけに今後の生き方を考え、ご主人の実家（六戸町）に近い本市に移住することを決めた松石さん。「仕事は、インターネットを活用して、世界と通じるので特に関心は感じていない」と話します。

### 移住者さんと語ろう



興味津々の様子で聞き入る生徒

そして、本市の魅力について「奥入瀬渓流・十和田湖の自然の圧倒的な迫力にはいつも驚き感動します。特に豊かな水。何万年もかけてつくられた水が、いかに皆さんの体と心をつくっているか、この地域の誇るべき財産です」と力強く話しました。村上さんの移住のきっかけは、アウトドアツアー会社からのオファー。実際に、十和田湖、奥入瀬渓流、蕨の森などを見て自然の深さに一目ぼれし、移住を決意したといいます。村上さんが見せた、美しく力強い自然の写真に、生徒たちは息をのみました。村上さんは話を続けました。「身近で誰もが気軽に楽しむことのできる自然は貴重です。この自然を上手に残してきた先人を誇りに思っ、大事にしていきましょう」と。

生徒たちは二人にたくさん質問をしました。「大事にしていることは？」と聞かれ、松石さんは「私が今、大事に思っているのは、健康です。そう思った時に、おいしい水や野菜のある十和田での生活が当てはまりました」。村上さんは「私は、思いを大事にしています。常に高い目標を、自分の中にしっかりと持っていることが、自分の活力になると思います」と話しました。生徒たちは、当たり前のように思っていたことが本市の魅力であったことに気がきました。そして、場所や環境のせいで何もできないと決め付けず、自分の好きなこと、やりたいことを見つけ、志を高く持つ大切さを学びました。



「十和田市には何も無いと思っていただけ、他の場所にはない、ここにしかないものがあると思ったので、将来は十和田市に関する仕事をしたいです」



「私は、十和田市でできる仕事は限られていると思っていたけれど、今日話を聞いてもっと将来の夢の視野を広くしたいと思いました」

長瀬那菜さん（2年）

全員の発表が終わわり、小山田市長は生徒たちに「皆さんは、市の現状を学び、課題を見つけ、市が元気になるために何をすればいいのかをよく考えていますね。若い皆さんならではの貴重な意見がたくさんあり、とてもありがたいです」と感謝の言葉を述べました。そして、「人間は誰でも夢を持ちます。でも夢は、現実と向き合った時に、変化したり、消えたりすることがあります。いつまでも夢を追いかける勇気を持って、今後の学業・社会生活を送ってください」とエールを送りました。保護者からは「大きな声ではききと発表して素晴らしかったです。夢やふるさとのことをたくさん調べていて頼もしいと思いました」と感想が述べられました。式が終わり、ほっとした表情を浮かべる生徒。夢の実現に向けて努力することを誓い、確かな一歩を踏み出しました。



小山田市長の感謝の言葉

### 14歳、夢に向かって

2月10日、市役所で同校の「立志式」つなげよう ふるさとの未来へ」が行われ、2学年生徒22人が小山田市長らに、将来の夢と市への提言を発表しました。

これまで生徒たちは、「ふるさと学習」を通して本市の現状を探り、さまざまな人との出会いから、自分の生き方を見つめてきました。

最初は緊張した面持ちの生徒でしたが、自分の番になると、将来を見据えるような真つすぐな眼差しで、夢とふるさとへの熱い思いを堂々と発表していきました。



### ふるさとを愛する心

日本一事業の取り組みが一番多い取り組みが「ふるさと」に関するものです。

今号で紹介した2校も、日本一事業を活用してふるさと学習を進めています。その中で芽生えた子どもたちの「ふるさとを愛する心」。これは、何事にも変え難い宝物です。本市にとっては、未来のまちづくりを担う人材の育成はもとより、元気で希望にあふれたまちの実現につながり、子どもたちにとっても、自分自身の誇りや自信となり、生きる力につながっていきます。

「郷土愛 未来を紡ぐ 縦の糸」これは第一中学校でつくった標語です。縦の糸とは、大人が子どもたちを支える希望や環境整備。その縦糸を軸にして、子どもたち自らが一本として一本と横の糸を積み重ねていくことを表しています。

貴重な子どもたちの「ふるさとを愛する心」を育むために、私たち大人や地域がなくてはならないことを、もう一度考えてみませんか。日本一事業は、生き生きとした子ども達の育つ、魅力ある学校づくりを支え、私たちのまちづくりにも大きな効果をもたらしています。



平成28年度

# 十和田市体育、スポーツに関する表彰

この表彰は、本市の体育、スポーツの振興に功績のあった人や、各種スポーツ大会で優秀な成績を収めた人に贈られます。

☎スポーツ・生涯学習課スポーツ振興係 ☎2317

## 体育功労賞



わたなべ とよぞう  
**渡邊 豊**さん  
(86歳)  
市ゲートボール協会  
副会長兼競技委員長

平成15年から市ゲートボール協会副会長兼競技委員長として、協会の運営をはじめ、積極的な会員の勧誘や新人の育成指導に尽力。また、社会福祉施設入所者へのゲートボール指導・育成など社会福祉事業への支援活動も積極的に行っている。



ねぎし えつろう  
**根岸 悦郎**さん  
(65歳)  
市ソフトボール協会  
審判長、県ソフト  
ボール協会評議員

長年にわたり、市民ナイターリーグチームへのルール講習会の開催や、市内小中学校・高校・クラブチームへの競技指導を通し、ソフトボール競技のレベルアップ・普及に尽力した。また、昭和54年に公認審判員を取得後、審判員として活躍。平成6年からは市ソフトボール協会審判長として審判員の育成、競技の発展に尽力している。

## スポーツ賞

- 〔生徒個人〕  
山市大悟(相撲)  
安ヶ平豪士(相撲)
- 〔一般団体〕  
北里大学獣医学部 跆拳道部
- 〔生徒団体〕  
三本木農業高校アーチェリー部  
(男子)

## 優秀選手賞

- 〔一般個人〕  
鹿島育子(硬式テニス)  
中沢瞳(馬術)  
畑山郁子、小笠原瞳  
(アーチェリー)  
赤坂大輔(少林寺拳法)  
下山優樹(卓球)  
櫻田歩(ハンドボール)
- 〔生徒個人〕  
福士超文(馬術)  
山端詩韻遠(空手道)  
斗沢未来、渡辺和恵、赤坂楓華  
(バスケットボール)  
久下海虎(弓道)  
大川剛(自転車)  
母良田嵩人(ハンドボール)  
山田奈桜(なぎなた)  
小笠原希、赤石有貴、小山田桜、大沢良太(少林寺拳法)  
鈴木龍亮(陸上)
- 〔生徒団体〕  
三本木高校ハンドボール部(男子)  
三本木農業高校アーチェリー部  
(女子)  
三本木農業高校相撲部

## スポーツ奨励賞

- 〔一般個人〕  
鈴木辰也、山田靖博、佐々木茂、瀧内義男、晴山薫(陸上)  
中野渡通行、中野渡完治、福沢和子、高松稔、久保英規、扇田リエ、長畑かよ

- 〔パークゴルフ〕  
音坂勇一、瀧内洋平、杉山幸雄、都築一雄、宮地寿子、山下香織、清水目基(水泳)
- 新岡貴美雄(グラウンド・ゴルフ)
- 工藤伸行(バウンドテニス)
- 吉田福司(ゲートボール)
- 櫻田晴夫、佐々木寛一郎、三浦浩田中貞子、中野誠子(卓球)
- 畑井智士、荒谷智以子、荒谷隆史、竹鼻厚子、附田昭雄、大久保通美(スキー)
- 藤井康弘(空手道)
- 小笠原勢一、野月明広、深堀雄一、下田昭博(ボウリング)
- 〔生徒個人〕  
蛭名魁、繫皓介、苦米地紗加(ソフトテニス)
- 福田瑞紀(少林寺拳法)
- 三國泰輔(水泳)
- 〔一般団体〕  
(特定非営利活動法人) 十和田市サッカー協会  
十和田市ゲートボール協会  
十和田市柔道協会  
十和田市パークゴルフ協会  
十和田市バスケットボール協会

## 特別賞

- ▼受賞10回  
荒谷智以子(スキー)  
坂上孝哉、吉田繁広、菊池秀秋、中野渡章(サッカー)
- ▼受賞5回  
中野渡完治、扇田リエ、佐藤悦子、中野勝子  
(パークゴルフ)  
宮地寿子、清水目基(水泳)  
大久保長八郎、松山勝隆、下平幸司、久保浩規、浦田雅人、小野寺亘、洞内全史(サッカー)  
東亮太(ゲートボール)  
下山孝幸、水梨裕介(柔道)  
夏堀牧子、林崎美香  
(バスケットボール)

※敬称は省略しています。



2月11日に表彰式が行われました

# 第6回 十和田市農業賞

この賞は、本市の基幹産業である農業分野において、生産性の高い経営を実践するなど、地域農業の発展に貢献した個人や団体に贈られます。

園農林畜産課 ☎ 516736



みずしり きちじ  
水尻 吉治 さん  
77歳・洞内字小田道

肥育牛（乳用種）の規模拡大を図り、市内随一の肉用牛経営規模を誇る（株）水尻畜産会長を努め、近年は黒毛和種繁殖牛を積極的に導入し、和牛一貫生産による経営基盤の強化を進めている。  
七戸畜産農業協同組合長などを歴任し、地域の畜産振興に尽力している。



くどう かずお  
工藤 和男 さん  
65歳・米田字桜平

葉たばこ生産を中心に、稲作と組み合わせた農業経営を実践し、十和田市葉たばこ生産振興会長として葉たばこ生産振興の中心的な役割を担っている。  
青森県農業経営士に認定され、十和田地区農業士会長などを歴任し、地域の担い手育成などに尽力している。

## 窓口の時間延長と臨時開設を行います

### 時間延長

3月30日(木)、31日(金)  
午後5時15分～午後6時

### 臨時開設

4月1日(土)  
午前8時30分～午後5時

### ■市民課 ☎ 516755

- ▽住民異動届の受け付け（転入・転出・転居）
- ▽戸籍届出（出生・死亡・婚姻など）
- ▽各種証明書の交付（住民票、戸籍、年金現況届）
- ▽印鑑登録、印鑑証明書の交付
- ▽国民年金の資格に関する手続き
- ▽マイナンバーカードの交付
- ※マイナンバーカードの交付は4月1日(土)のみ午後4時まで
- ※市民課では、各種証明書の交付に限り一年を通して月・金曜日に午後6時までの時間延長を行っています。

### ■税務課 ☎ 516765

- ▽所得（課税）証明書・納税証明書の交付
- ▽原付バイクなどの標識交付・返納の受け付け

### ■国民健康保険課

☎ 516750 ☎ 516752

- ▽時間延長と臨時開設時の住民異動

に伴う国民健康保険、後期高齢者医療制度の手続き

### ■子ども子育て支援課 ☎ 516717

- ▽児童手当の手続き
- ▽児童扶養手当の手続き
- ▽子ども医療給付の手続き
- ▽ひとり親家庭医療給付の手続き
- ▽保育所などの入所手続き
- まちづくり支援課 ☎ 516726
- ▽ゴミ出しのルール説明
- ▽町内会への加入案内
- ▽犬の登録、転入、転出手続き
- ▽交通災害共済加入、脱退手続き

### ◇ご協力ください

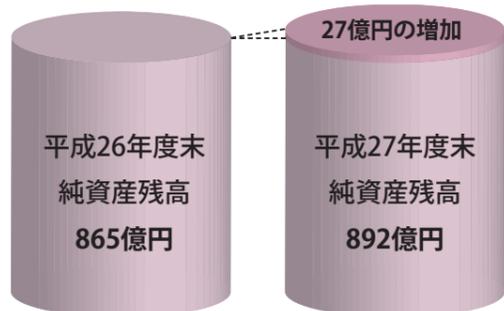
- ※取り扱いきない業務やマイナンバーが必要となる業務が一部あります。
- ※手続き内容によっては、後日あらためておいていただくことがあります。
- ※窓口では「なりすまし」などによる不正な請求を防止するために本人確認を行っています。
- ※本人確認書類（マイナンバーカードや運転免許証など）と印鑑をお持ちください。
- ※代理人が手続きを行う場合、委任状などの提出を求める手続きがあります。



詳しくはお問い合わせください。

### ③純資産変動計算書

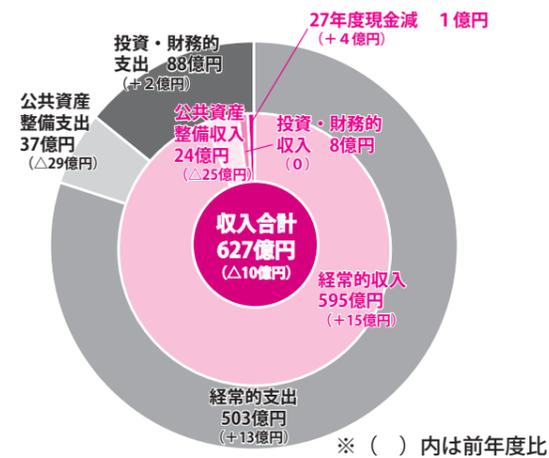
貸借対照表にある純資産が1年間でどのように増減したのかを表したものです。



市民1人当たりの純資産残高 142万円

### ④資金収支計算書

1年間の現金の流れを性質ごとに表したものです。



## 財務書類から市の財政状況の特徴や傾向を把握

財務書類の各項目から、市の財政状況の特徴や傾向を把握することができます。また、各自治体でも作成しているため、他市と比較することが可能になります。



#### ■市民1人当たりの資産と負債 (【貸借対照表】資産÷人口、【貸借対照表】負債÷人口)

資産	平成27年	300万円	平成26年	299万円	県内市部平均	平成26年	286万円
負債	〃	158万円	〃	163万円	〃	〃	126万円

#### ■市民1人当たりのコストと収益 (【行政コスト計算書】経常行政コスト÷人口、【行政コスト計算書】経常収益÷人口)

経常行政コスト	平成27年	90万円	平成26年	88万円	県内市部平均	平成26年	85万円
経常収益	〃	36万円	〃	37万円	〃	〃	29万円

#### ■資金の流動比率 (【貸借対照表】資産のうち流動資産÷【貸借対照表】負債のうち流動負債×100)

1年間の資金の安定性を表し、100%以下は借金の返済のために新たな借金が必要な状態です。昨年度と比較して、流動比率は減少していますが、県内他市と比較しても安定しています。

資金の流動比率	平成27年	186.0%	平成26年	190.7%	県内市部平均	平成26年	131.8%
---------	-------	--------	-------	--------	--------	-------	--------

#### ■地方債の償還可能年数 (【貸借対照表】負債のうち地方債残高÷【資金収支計算書】経常的収支額)

地方債残高が、通常見込まれる歳入と歳出の差額の何年分に当たるかを計算することで、地方債残高の程度をはかることができます。昨年度と比較して、地方債残高が減少しているため、償還可能年数が短くなっています。また、県内他市と比較するとほぼ平均的な数値となっています。

償還可能年数	平成27年	8年	平成26年	12年	県内市部平均	平成26年	9年
--------	-------	----	-------	-----	--------	-------	----

※人口は、平成28年3月末日の人口63,011人を用いています。

### 十和田市の財政状況は…

いずれの数値も健全な状態から、健全な財政運営が行われていることがわかります！



**用語の説明**

■貸借対照表  
公共資産▼土地や建物など住民サービスのために提供されている資産です。  
流動資産▼現金やすぐに使える基金、税金の未入金などの資産です。  
■資金収支計算書  
経常的収支▼経常的な行政活動により生じる収入、支出です。  
公共資産整備収支▼道路や学校、公園などに主に貸借対照表の有形固定資産形成のための収入、支出です。  
投資・財務的収支▼公営企業や団体への出資金・貸付金、地方債の元金償還額などの収入、支出です。

## 平成27年度

# 市の連結財務書類4表をお知らせします

平成27年度の市全体の財務状況を把握するため、市と関連する団体を含めた連結グループ(下図参照)により財務書類4表(①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書)を作成しました。

詳しい内容は、政策財政課窓口に備え付けの「平成27年度十和田市財務書類報告書」または市ホームページをご覧ください。  
☎政策財政課財政係 ☎6713

### 【連結グループ】

#### 【市全体】

普通会計(一般会計から駐車場事業分を除いた会計)

- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 水道事業会計
- 下水道事業会計
- 病院事業会計
- 地方卸売市場事業特別会計
- 温泉事業特別会計
- 駐車場事業会計

#### 【一部事務組合】

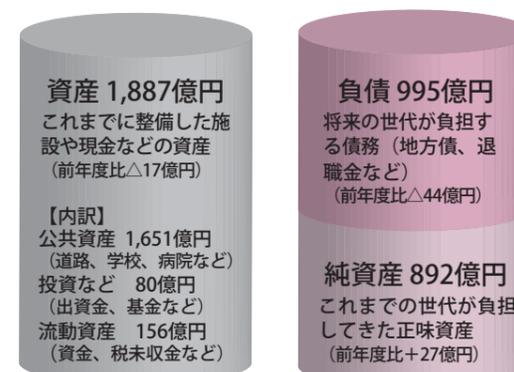
- 十和田地域広域事務組合
- 十和田地区環境整備事務組合
- 十和田地区食肉処理事務組合
- 上北地方教育・福祉事務組合
- 青森県市町村職員退職手当組合
- 青森県市町村総合事務組合
- 青森県市長会館管理組合
- 青森県後期高齢者医療広域連合

#### 【関連法人】

- 一般財団法人十和田湖ふるさと活性化公社
- 十和田市土地開発公社
- 一般財団法人十和田市体育協会

### ①貸借対照表(バランスシート)

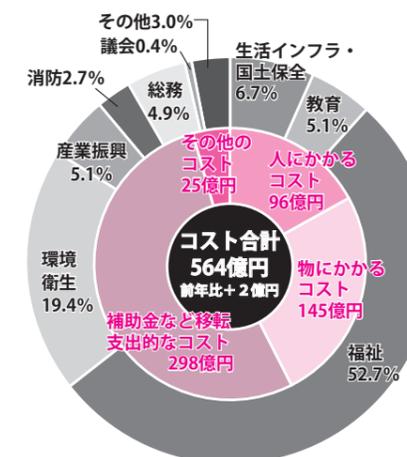
年度末に、市が保有している施設、現金などの全ての財産(資産)に対し、将来の世代が負担する債務(負債)と今までの世代がどのような財源(純資産)で負担してきたかを表したものです。「資産=負債+純資産」と表の左右が一致し、バランスがとれていることからバランスシートと呼ばれています。



市民1人当たりの資産 300万円  
市民1人当たりの負債 158万円

### ②行政コスト計算書

1年間の行政サービスのうち、財産とならない福祉サービスや人件費などの経常行政コスト(費用)とその財源である経常収益を表します。企業における損益計算書に相当するものです。※本図は経常行政コストのみです。内側の円は性質別、外側の円は目的別に分類したものです。



市民1人当たりの行政コスト 90万円

移住・定住就農支援事業

## 夢を追いかけて十和田市へ

市では、移住された青年就農給付金（経営開始型）利用者へ、空き家を利用する場合の家賃や改修費の補助などを行う「移住・定住就農支援事業」を実施しています。今号は、千葉県から移住され、この事業を活用し農業を営んでいる丹上 聡さんを紹介します。

### INTERVIEW 移住者の声

## I 自分の手で一から農業を始めたい

#### －移住のきっかけは？

私の実家は農家で小さい頃から農業が身近にありました。大学卒業後、北九州市で3年ほど介護の仕事をしていましたが、農業をしたいという気持ちが強くなり、実家がある千葉市へ戻り、親の手伝いをしていました。十和田市に移住を決めたのは、父と祖母が所有する土地があり、そこで自分の手で一から農業を始めたいと思ったからです。

#### －移住・定住就農支援事業を活用した感想は？

農業研修が終わる頃に、市の紹介で空き家の家賃や改修費の補助などを行う「移住・定住就農支援事業」を知りました。まずは空き家探しを始めましたが、その際に近所でお世話になっている人から、農業ハウスを建てられるくらい広い敷地の空き家を紹介していただきました。

事業を活用して、内装の張り替えや電気工事をするのができたので助かりました。また、空き家に残る家財道具などの整理費用の補助もあるため、空き家所有者への支援にもつながる事業だと思います。

#### －移住して大きく変わったことは？

雪の生活は経験したことがなかったので、仕事や生活をしていて大変なこともあります。その一方、真っ白に映える雪景色はとてもきれいですね。また、農協青年部で知り合った人から、農業資材を安く譲っていただいたり、畑を借りている人から農業機械を貸していただいたり、他にも除雪や農産物の販売先確保などいろいろな場面で、地域の人が応援してくれることが大変ありがたいです。

#### －農業の魅力は？

昨年、まだあまり知られていない新しい品種のミニトマトを作ってみた時のことですが、実際に直売所で販売したところ、思った以上にお客さんからの評判が良かったんですね。夏の大雨で被害を受けてしまい、収穫量は振るわなかったのですが、次につながる手ごたえを感じました。このように、自分が考えて実行したことが良くも悪くも成果として返ってくるのが魅力の一つですね。いろんなことを試行錯誤しながら進めていくのがおもしろいです。

#### －今後の目標は？

まずは、自分の農業の基礎を築いていきたいです。将来的には、私のように移住して農業を始めたいという人に、教えてあげられるようになりたいです。

移住情報発信ポータルサイト「日々コレ十和田ナリ」では、移住支援事業の紹介や移住者のインタビューなどを発信しています。ぜひご覧ください。



たんじょう さとし  
**丹上 聡**さん

#### PROFILE

千葉県千葉市出身。大学卒業後、介護職などを経て、2014年に本市に移住。青年就農給付金を受給しながら市内の個人農家で研修をした後、2016年4月奥瀬地区にて就農（写真は新しく栽培を始めたタラの芽）。妻と娘の3人家族。妻の嘉美さんは、本市で長女の優佳里ちゃんを出産し、子育てに励んでいます。

# 平成 29 年度期間業務職員・非常勤職員等募集のお知らせ（その1）

表中※印の番号の説明

対象※1 ①昭和27年4月2日以降に生まれた人 ②普通自動車の運転免許を有している人

③パソコン操作（ワード・エクセル）ができる人 ④高等学校卒業以上の人

提出書類※2 ①履歴書（市販のものに顔写真貼付） ②自動車運転免許証の写し（両面）

募集区分	主任家庭相談員	家庭相談員	介護認定調査員	助産師	事務補助員 (身体障害者)
勤務場所	こども子育て支援課		高齢介護課	保健センター	各課・施設
対象※1	①～③のいずれにも該当するほか、児童福祉司任用資格や保育士・看護師などの資格のいずれかを有する人で、児童相談援助業務経験が2年以上ある人	①～③のいずれにも該当するほか、児童福祉司任用資格や保育士・看護師などの資格のいずれかを有する人	①～③のいずれにも該当するほか、保健師、看護師、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員の資格のいずれかを有する人	①～③のいずれにも該当するほか、助産師経験を5年以上有する人	①と③に該当するほか、身体障害者手帳交付者で、自力歩行ができ、介助者なしで業務ができる人
業務内容	児童相談援助業務、関係機関などへの支援内容の助言業務など	児童相談援助業務、関係機関との連絡調整業務など	介護認定調査業務、高齢者支援業務	妊産婦に対する健康相談、保健指導、家庭訪問など	事務補助（文書整理、ワード・エクセル操作）
募集人員	1人	1人	2人	1人	1人
勤務日	月～金曜日（祝日を除く）				
勤務時間	午前9時～午後5時		午前9時15分～午後4時 (午前8時30分～午後4時45分の間でシフト勤務もあり)	午前9時～午後5時	
賃金・報酬	月額 193,600 円	月額 173,100 円	月額 158,500 円	月額 190,400 円	月額 131,900 円
	通勤手当相当を支給（条件などあり）				
保険	(1)社会保険 (2)雇用保険				
任用期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日				
面接試験	3月9日(木) 午後3時 市役所新館3階会議室A		3月23日(木) 午前10時 市役所新館3階会議室A	3月13日(月) 午後3時 保健センター	3月17日(金) 新館3階会議室A
提出書類※2	①②と資格の証明書類の写し。主任は職務経歴書、経験の有無を確認できるもの		①②と資格の証明書類の写し		①と身体障害者手帳の写し
申込期限	3月7日(火)		3月21日(火)	3月9日(木)	3月15日(水)
応募方法ほか	・郵送不可 ・要件を満たしている人は両方を同時に申し込むことができます。 ・ハローワークの紹介状が必要です。 ・下記申し込み先へ持参してください。		郵送の場合は、封筒の表に「介護認定調査員応募」と朱書きし、〒034-8615へ（住所記載不要）	郵送の場合は、封筒の表に「助産師応募」と朱書きし、〒034-0081西十三番町4-37健康増進課宛てへ	郵送の場合は、封筒の表に「事務補助員申込」と朱書きし、82円切手を貼った返信用封筒（宛名記入）を同封して〒034-8615へ（住所記載不要）
申し込み・問い合わせ先	こども子育て支援課 ☎⑤1 6716		高齢介護課 ☎⑤1 6722	健康増進課 ☎⑤1 6792	人事課 ☎⑤1 6705

(その3)

募集区分	家屋特定調査・土地地目認定調査業務補助員		とわだ産品販売戦略課期間業務職員		十和田湖観光交流センター「ぷらっと」期間業務労務職員		市立中央病院	
					一般	外国語対応	看護補助非常勤職員	看護師パートタイマー
勤務場所	税務課		とわだ産品販売戦略課		十和田湖観光交流センター(休屋)		市立中央病院	
対象※1	①～③のいずれにも該当する人		①と②に該当する人		①と②に該当し、英語または中国語(広東語、台湾語含む)の日常会話が可能なる人		①に該当する人 看護師または准看護師免許を有する人	
業務内容	家屋、土地の各調査業務の補助、データ入力業務		物産フェアなどの出展者の取りまとめ、食材サンプル提供などの事務		観光案内、施設の開閉錠・清掃、展示紹介など		観光案内、観光情報翻訳、施設の開閉錠・清掃、展示紹介など 看護師の補助業務(シーツ交換、入浴介助、オムツ交換など) 入院患者の見守り	
募集人員	3人		1人		1人		2人	
勤務日	月～金曜日(祝日を除く)		週5日(土・日曜日、祝日の勤務あり)シフト制		週5日程度		週6日以内 ※勤務日は、相談に応じます。	
勤務時間	午前8時30分～午後5時15分(業務状況により時間外あり)		午前8時30分～午後5時15分		午前8時30分～午後5時15分		シフト制 (1)午前7時～午後2時 (2)午前8時30分～午後3時30分 (3)午後0時30分～午後7時30分 (4)午後5時～午前9時 (1)午前6時～午前9時 (2)午後6時～午後9時(時間は相談に応じます)	
賃金・報酬	日額5,900円		日額5,900円		日額7,000円		日額7,900円	
保険	(1)社会保険 (2)雇用保険						要件を満たす場合(1)(2)あり	
任用期間	平成29年4月1日～9月30日(必要に応じ再任用あり)		平成29年4月1日～12月31日		平成29年4月1日～9月30日(必要に応じ再任用あり)		平成29年4月1日～平成30年3月31日	
面接試験	3月17日(金) 午前9時30分 市役所本館第2委員会室		3月13日(月) 午前10時 市役所新館3階会議室A		3月17日(金) 午後1時30分 市役所新館4階会議室 ※面接時間の10分前までに観光推進課へお越しください。		3月16日(木) 午後2時 中央病院別館2階会議室	
提出書類※2	①②の両方		①②の両方		①②の両方。 ①に英語または中国語会話可能を明記。		① ①と資格証明書類の写し	
申込期限	3月10日(金)		3月9日(木)		3月15日(水)		3月14日(火)	
応募方法ほか	郵送の場合は、封筒の表に「税務課事務補助員申込」と朱書きし、〒034-8615へ(住所記載不要)		郵送の場合は、封筒の表に「とわだ産品販売戦略課」と朱書きし、82円切手を貼った返信用封筒(宛名記入)を同封で〒034-8615へ(住所記載不要)		郵送不可		郵送の場合は、封筒の表に「医療職職員申込」と朱書きし、履歴書上部に希望職種を記入して、〒034-0093 西十二番町14-8 十和田市立中央病院宛てへ	
申し込み・問い合わせ先	税務課 ☎⑤ 6768・⑤ 6769		とわだ産品販売戦略課 ☎⑤ 6743		観光推進課 ☎⑤ 6711		中央病院業務課 ☎③ 5121	

(その2)

表中※印の番号の説明

対象※1 ①昭和27年4月2日以降に生まれた人 ②普通自動車の運転免許を有している人  
③パソコン操作(ワード・エクセル)ができる人 ④高等学校卒業以上の人

提出書類※2 ①履歴書(市販のものに顔写真貼付) ②自動車運転免許証の写し(両面)

募集区分	市民交流プラザ「トワレ」非常勤職員	沢田悠学館 管理人	アネックススポーツランド管理人	特別支援教育支援員非常勤職員	アシスタントティーチャー
勤務場所	市民交流プラザ「トワレ」	沢田悠学館	アネックススポーツランド	市内小・中学校	
対象※1	①③④のいずれにも該当する人	①と③に該当する人	①～③のいずれにも該当する人	①に該当する人(各学校に通勤できる人)	①に該当するほか、児童生徒の教科指導を支援できる人
業務内容	施設利用受付、事務、施設管理・除雪など(身体障害者手帳交付者で、自力歩行ができ、介助者なしで業務ができる人でも応募できます)	施設管理(施設内外の点検、清掃、芝刈り、除雪など)、施設利用申込受付業務、来館者対応、書類の整理、日誌記入、利用集計など	施設および設備の維持管理、外構の環境整備、利用受付業務、利用料金受領業務など	障害を有し、または介助を要するなど特別な配慮を必要とする児童・生徒の学校生活の支援	児童・生徒の教科(国語、算数・数学、社会、理科、英語など)指導を支援
募集人員	8人	2人	4人	4人程度	5人程度
勤務日	週5日(勤務指定日あり、土・日曜日、祝日の勤務あり)	週4日(指定日あり)	週5日(勤務指定日あり、土・日曜日、祝日の勤務あり)	週5日程度	年間45～120日程度 ※勤務校との協議により決定
勤務時間	シフト制 (1)午前8時30分～午後4時 (2)午前10時30分～午後6時	午前8時30分～午後5時15分	シフト制 (1)午前8時30分～午後4時30分 (2)午後1時15分～午後9時15分	原則1日5時間程度。勤務校により変更あり。学校が長期休業中は勤務なし。	原則1日3時間程度
賃金・報酬	月額118,700円	月額113,200円	月額158,500円	時給840円	日額3,000円(謝礼)
保険	(1)社会保険 (2)雇用保険			(2)雇用保険	なし
任用期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日				平成29年4月下旬～平成30年2月
面接試験	3月9日(木) 午前10時 市民交流プラザ「トワレ」	3月10日(金) 午後2時30分 沢田悠学館	3月10日(金) 午前10時 十和田湖支所2階交流室	3月17日(金) 午前9時 十和田湖支所2階交流室	随時受付
提出書類※2	①	①	①②の両方	①	①
申込期限	3月7日(火)	3月8日(水)		3月15日(水)	3月10日(金)
応募方法ほか	郵送不可				郵送不可(受け付け時に、登録用紙に記入していただきます。印鑑持参のこと)
申し込み・問い合わせ先	まちづくり支援課 ☎⑤ 6725	スポーツ・生涯学習課 生涯学習係 ☎⑦ 2318		スポーツ振興係 ☎⑦ 2317	教育総務課 ☎⑦ 2305
					指導課 ☎⑦ 2309

3月の健康カレンダー

●乳幼児健診・母子健康相談

▶問診票・母子健康手帳を持参してください。



内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆4か月児健診 健診日までに満4か月に達する乳児	14日(火) 12:00~12:45 ※バスタオル持参	保健センター 健康増進課 ☎516792
◆1歳6か月児健診 平成27年9月生まれの幼児	8日(水)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆2歳児発達健診 平成26年9月生まれの幼児	9日(木)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆3歳児健診 平成25年9月生まれの幼児	7日(火)※歯ブラシ持参 12:00~12:45	
◆子どものこころの相談 対象:小・中・高校生	16日(木)14:00~ ※9日(木)まで要予約	

※2歳児発達健診は2歳6か月児が対象です。問診票は1歳6か月児健診時に、母子健康手帳に挟めて配布しています。  
※3歳児健診は3歳6か月児が対象です。  
※発熱や感染症治療中のときは、翌日以降に受診してください。  
※保健センターの駐車場が満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

●各種相談

内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆栄養相談 市内在住の人	15日(水) 9:30~13:15~ ※13日(月)まで要予約	保健センター 健康増進課 ☎516791
◆療育相談 首すわり・おすわり、歩き始めが遅い気がするなど、発育や発達について心配のあるお子さんの家族	15日(水)※要予約 ▶継続の人 9:30~10:30 ▶新規の人 10:30~11:00	上十三保健所 ☎234261
◆B型・C型肝炎検査 一般の人	7日(火)・14日(火) 13:00~13:30 ※要予約	
◆精神保健福祉相談 心の悩みや病気に関する相談を希望する方	15日(水) 13:00~13:30 ※要予約	
◆女性健康相談 思春期や不妊、更年期障害などにお悩みの方	16日(木) 10:00~10:30	
◆エイズに関する相談 一般の方	7日(火)・14日(火) 13:30~14:30 ※要予約	

●献血のお知らせ 健康増進課健康管理係 ☎516790

実施予定日	時間	場所
12日(日)	10:00~11:45	イオンスーパーセンター十和田店
	13:00~16:00	
17日(金)	9:30~11:30	丸井重機建設
	13:00~16:00	十和田東病院
26日(日)	10:00~11:45	イオンスーパーセンター十和田店
	13:00~16:00	

助成期限は3月31日

接種しましたか?

高齢者肺炎球菌ワクチン

今年度の高齢者肺炎球菌ワクチン対象者の予防接種は、3月31日で助成が終了します。対象期間を過ぎると、全額自己負担になりますので、希望される対象者は、市内の指定医療機関で接種を受けましょう。

また、対象者のご家族やご近所の方は、予防接種の確認や高齢者へのお知らせなどにご協力ください。

◎対象者

市内に住所のある次の①か②に該当する人で、過去に肺炎球菌ワクチン(ニューモバックスNP)を接種したことがない人

①平成28年度中に65、70、75、80、85、90、95、100歳になる人

②接種日において60歳以上65歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスにより、免疫の機能に自己身の日常生活がほとんど不可能な程度の障害を持ち、身体障害者手帳1級相当の人

◎接種費用

2,000円(非課税世帯、生活保護世帯は無料)  
健康増進課健康管理係 ☎516790

3月は自殺対策強化月間です

ストレスに負けない生活習慣

現代社会においてストレスは避けて通れないものです。そのため、うまく対処しないと蓄積され、過度になるとうつ病を始めとする心身の不調をきたし、健康的な毎日を過ごせなくなることがあります。ストレスと上手に付き合い、軽減するコツを毎日の生活に取り入れ、ストレスに負けない生活習慣を始めましょう。

▶1日3食を規則正しく、楽しみながら食事をしましょう。

▶無理のないペースで運動を習慣化しましょう。

▶質の良い、十分な睡眠時間を確保しましょう。

▶周りの人とのコミュニケーションを大切にしましょう。

▶ストレスや悩みは1人で抱え込まず、身近な人や相談機関へ相談しましょう。

健康増進課健康づくり推進係 ☎516791

平成29年度健康診査のご案内

電話または健康診査申込書で保健センターに申し込みしてください。  
※健康診査申込書は、40歳以上の国民健康保険加入者、前年度に市の健診を受診した人などへ郵送します。そのほかの人は、電話で申し込みしてください。

▶申込期間 3月1日(水)~3月27日(月)

▶問い合わせ・申し込み先 保健センター ☎516790・516791・516792

健診を受けて  
短命県返上!



種類	検査項目	対象・年齢 (平成30年3月31日での年齢)	個人負担金	
			集団方式	個別方式
1	特定健康診査	問診、身体計測、血圧測定、尿検査、医師診察、採血(血糖・肝機能・脂質・ヘモグロビンA1C検査、血清クレアチニン検査)、心電図検査、貧血検査、眼底検査	・国民健康保険加入者 ・40歳以上の生活保護受給者	
	後期高齢者健康診査	後期高齢者医療保険加入者	無料	
2	胃がん検診	胃X線検査(バリウム検査)	1,300円	1,800円
3	結核・肺がん検診	胸部X線検査	400円	実施なし
4	大腸がん検診	便潜血検査(2日分の採便)	500円	
5	乳がん検診(2年に1回)	マンモグラフィ	40歳以上で平成28年度市が実施した乳がん検診を受診していない女性(心臓ペースメーカー装着者、VPシャント造設者、現在授乳中の人、豊胸手術をされた人は受診できません)	
6	子宮頸がん検診(2年に1回)	視診、細胞診	1,200円	1,200円 ▶医療機関に直接申し込み
7	骨粗しょう症検診	足骨量測定	40・45・50・55・60・65・70歳の女性	600円 実施なし
8	肝炎ウイルス検診(電話申し込み)	B型・C型	40歳と41歳以上で過去に受診したことがない人	
9	人間ドック	上記1~4の他、腹部超音波、視力、聴力、血液追加検査など	40歳以上の国民健康保険加入者 後期高齢者医療保険加入者 40歳以上の生活保護受給者	14,000円 ▶実施場所は市立中央病院 実施なし

※協会けんぽ、共済組合など、国民健康保険以外の保険に加入している40歳以上の被扶養者(家族)の特定健康診査の申し込みは、青森県総合健診センター(☎017-741-2336)へ直接申し込みしてください。

※個人負担金の免除

市民税非課税世帯、生活保護、満70歳以上、無料クーポン券の対象のかたは、一部の健診を除いて個人負担金が免除となります。詳しくはお問い合わせください。

※子宮頸がん検診(個別方式)

個別子宮頸がん検診は、以下の指定医療機関で実施しています。受診希望者は直接申し込みしてください。

指定医療機関名	電話番号
十和田産婦人科内科クリニック	23 7777
藤井産婦人科医院	22 5588
市立中央病院(健診センター)	23 5763
しんクリニック	22 7711

市立中央病院の子宮頸がん検診は、経膈エコー検査とセットとなり、追加料金があります。  
詳しくは、市立中央病院(健診センター)へお問い合わせください。

# 何をやっても楽しくて仕方ない♪ 日々を楽しむチカラ



十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員によるコーナーです

**「ゆっパル」の由来**  
この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。「一人ひとりの思いが結びついて仲間をつくる」という願いが込められています。

女性の個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指す「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が平成28年4月に全面施行されてから1年が経とうとしています。今号では、何事も楽しんで取り組む女性経営者、ササキ石油販売㈱の佐々木千佳子さんにお話を伺いました。

## Interview

ササキ石油販売㈱ 代表取締役

佐々木 千佳子 さん (67歳)



ササキ石油販売㈱  
所在地 奥瀬字小沢口 425-3  
創業 昭和37年8月  
従業員 40人  
事業  
・ホームエネルギー事業  
・エコエネルギー事業  
・住宅設備サービス事業  
・自動車整備事業  
・十和田湖町カーステーション  
・セルフAM1カーステーション

持ち前の明るさで会社を切り盛りする佐々木さん。会社経営のほか、十和田湖商工会副会長、十和田湖ひめますブランド推進協議会運営委員長、十和田湖まちづくり協議会会長を務め、地域の活性化にも尽力されています。

「仕事の状況を教えてください。」

この仕事は、昭和46年に結婚してからずっと続けています。商売をしている家で生まれ育ったので、人とふれあう仕事は元から好きでした。会社経営は、義父から主人が継ぎ、14年前に主人が亡くなり、私が引き継ぎました。今は、息子が帰って来て仕事を手伝ってくれているので、引き継ぐための準備をしているような状況です。

「他に女性社員はいますか？」

もちろんです。当社では仕事に男女の差はありません。女性社員も、結婚・出産しても続けたいという本人の意思があれば支援しています。女性社員の力は大きいですよ。ガス販売は、お客さまの家庭に入る仕事です。主婦との対話が大事なので、当社では女性社員が全戸担当して活躍しています。ガソリンスタンドでは、アテンド業務（お客さまに声掛けをする仕事）で明るく接し、65歳まで働いた女性社員もいます。

「仕事をやる上で大切にしている」とはありますか？」

私は、楽家で落ち込まないタイプなんです。現状を、今を楽しんで「状況を楽しいことに変える」というのが私の信条ですね。だから仕事をストレスに感じたことはありません。仕事のほかにもいろいろやっていますが、何をやっても楽しくて仕方ありません。

社員には「らしく」を大事にしましょう」と話しています。「自分らしく」「プロらしく」…さまざまありますよね。震災の時には「当社らしく」を大事に、どうしたらこの状況でお客さまの需要に応えられるかをみんなで考えました。そのおかげでお客さまには大変喜ばれて、新しいお客さまへとつながっていきま

「女性が働くために必要なことは何だと思えますか？」

やっぱり本人の気持ちが一番じゃないでしょうか。働かなくてはいけ

## ◆インタビューを終えて

佐々木さんからお話を聞いて印象に残ったのは、何事も楽しんでる姿勢でした。これは、常に新鮮な気持ちと、自分を磨く向上心を持ち合わせていないと、できないことだと思います。

本市の女性は昔から、南部裂織など生活に知恵を取り入れ、生活を豊かにする工夫を重ねてきました。でも、一番生活を豊かにしたのは、雪国の寒さにも負けない、太陽のような明るい姿だったのかもしれない。「元始、女性は実に太陽であった」\*平塚らいてうの一文を思い起こすような、明るい佐々木さんに、日々を楽しむチカラの素晴らしさを教えられた気がします。

## ホットな一句



市には、奥入瀬溪流・十和田湖という世界的に見ても素晴らしい観光資源があります。それらの資源を活用し、維持するためには何をしたらいいのかを本気で考える時期にきていると思えますね。一過性の、観光客を呼び込むための施策ではなく、資源の持つ力で、自然に人が集まってくるという形を作らなくてはいけないと思います。そしてそこに雇用が生まれれば…。そういった提案をしていきたいと思っています。

「女性の起業をどう思われますか？」

女の人には、男の人が思いつかない発想力とか、すごい力があると思います。だから、まず口に出してやりたいことを言えばいいと思います。言ったら誰かがアドバイスをくれたり、助けてくれると思いますよ。そして起業したら、顧客の幅を広げていくために、宣伝をうまく行うことが大事だと思います。

「地域活性化のためにさまざまな活動をされていますが、今、考えていることはありますか？」

イヤ、毎日娘を高校まで送ってるんだよ

## 「さんかく日和」その9

Akemi.N



### ★編集後記

男女共同の時代とはいえ、まだまだ遠い現状。佐々木さんの持ち前の明るさとパワー、私も見習いたいです。(K)  
今回の取材では、アイデアとやる気と行動力、全てそろったパワーを感じました。(N)  
私もどんな状況にあっても、前向きに貪欲に何事も楽しんでやる気持ちを常に持ち続けたい。(F)

編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員 木村奈生美、中野渡明美、深谷淳子  
イラスト 中野渡明美  
発行 総務課広報男女参画係 ☎6702

\* (ひらつからいちょう) 大正・昭和期の評論家、婦人運動家。この一文は、雑誌『青鞥(せいとう)』創刊の辞

みんなで  
出かけよう



上十三・十和田湖広域定住自立圏圏域のイベント情報をお届けします♪

## 三沢市

### 三沢ほっきまつり

三沢の冬の味覚「ほっき貝」の無料試食会や即売会、ほっき料理・加工品の販売のほか、ほっきムキ大会をはじめとするアトラクションでほっき貝の魅力を堪能できるイベントです。

とき 3月12日(日)  
午前8時45分～

ところ 三沢漁港市場内

問三沢市漁業協同組合 ☎⑤42202



※昨年の三沢ほっきまつりの様子

## 七戸町

### 第76回国際写真サロン展

写真表現や画像加工を駆使し、独創性と芸術性に富んだ写真の中から、世界各国の入賞・入選作品を紹介します。

とき 3月18日(土)～31日(金)

ところ 鷹山宇一記念美術館

入館料 一般500円、大学生・高校生300円、中学生・小学生100円

休館日 3月21日(火)・3月27日(月)

問鷹山宇一記念美術館 ☎②5858

## 横浜町

### ホタテ稚貝フェア

ホタテ稚貝の大袋販売(2kg500円)とみそ汁(1杯100円・先着30杯)の提供をします。

とき 3月12日(日)  
午前10時～11時30分

### 1日限定変わり種菜の花ドーナツ

ドーナツにアイスを挟んだドーナツアイスやチョコレートのデコレーションなど、様々なアレンジドーナツを販売します。

とき 4月9日(日)  
午前10時～午後1時



### ◆いづれも

ところ 道の駅「よこはま」  
菜の花プラザ

問道の駅「よこはま」

菜の花プラザ ☎0175⑧6687

**Q** 母には亡くなった兄のほかにも兄弟がいるのですが、その中には認

**A** 成年被後見人であっても、相続ができないということはありません。ただし、相続について話し合いが必要な場合などには、ご本人が話し合いをすることはできませんので、成年後見人が話し合いを行うこととなります。弁護士へ相談や依頼をする場合にも成年後見人が対応をするようになります。

**Q** 私の母は、現在施設に入所しており、認知症との診断を受けています。そのため、私が家庭裁判所の選任を受けて母の後見人となつていますが、母の兄が亡くなったのですが、その人には妻子がおらず、母の両親はすでに他界しています。母が法定相続人であることは教えてもらったのですが、成年被後見人であっても、相続をすることができのでしょうか。

市民の皆さんの身近な事柄を取り上げ、法律の面から弁護士が解説します。今回は「**成年後見と相続**」についてです。  
問まちづくり支援課 ☎⑤6777

## 法律相談



～第30回～

(文責・弁護士 花生 耕子)  
いずみ法律事務所 ☎⑤86558

**A** 成年後見人の職務は成年被後見人が亡くなると同時に終了します。もし義理のお父さんが亡くなられた場合には、相続人は、成年後見人からご本人の財産について引き継ぎを受けする必要があります。成年後見人とよく連絡を取り合い、財産の引き継ぎを受けましょう。

**Q** 夫の父も成年被後見人ですが、弁護士が成年後見人になっていきます。もし義父が亡くなった場合、成年後見人が引き続き義父の財産を管理することになりますか。

**A** 認知症などの診断がなされている場合でも、必ず成年後見人の選任が相当という判断がなされるわけではありません。とはいえ、認知症などの診断がなされている場合には、ご本人による適切な判断が難しいことが多いと思います。かかりつけの医師、通所施設の職員、弁護士、家庭裁判所などへ成年後見などの申し立てを行うべきかどうか相談することをお勧めします。

知症などの診断を受けているけれど、後見人がついていない人もいます。この場合には、その本人が相続についての話し合いをするのですか。



2/12

地域で受け継がれる多彩な伝統芸能が集結

## 十和田市伝統芸能まつり

伝統芸能の歴史と文化の継承を目的に、市民文化センターで「第27回十和田市伝統芸能まつり」が開催され、約760人の観客が訪れました。

南部切田神楽会や大不動鶏舞保存会など市内7団体のほか、下北郡東通村の国指定重要無形民俗文化財の「下北の能舞」尻労後援会が招待され、地域で脈々と受け継がれている伝統芸能が披露されると、会場からは惜しめない拍手と歓声が送られました。



尻労後援会が下北地方に伝わる中世風の語り物の芸能を披露しました



整然として勢いのある分列が、澄み切った空気の官庁街通りを行進しました

2/11

消防団員らが勇壮な分列行進を披露

## 十和田市消防出初式

消防出初式が官庁街通りなどで行われました。官庁街通りには、消防職員、消防団員、消防車両が整列。総指揮者の角田弘信団長が、総監部観閲者の小山田市長に、「本日の出場消防団員総員754名、出場車両47台、待機車両7台、待機消防団員35名完了しました」と声高く報告し、巡閲者らが長蛇の隊列を巡閲。その後、754人の群列は、ラッパ隊の演奏に合わせて分列行進を行い、地域の安全・安心を守るため、気持ちを新たにしていました。

2/3-26

華麗なる雪の華と幻想的な雪の世界

## 十和田湖冬物語 2017

十和田湖畔休屋特設イベント会場で、北東北最大級の雪祭り、十和田湖冬物語が開催されました。

会場には、約16万個のLEDのイルミネーションや陸上自衛隊八戸駐屯地の皆さんが制作した雪像、毎夜打ち上げられる冬花火のほか、青森・秋田両県の郷土料理が味わえる「ゆきあかり横丁」や、子どもたちが楽しめる大型すべり台などが設置され、大人から子どもまで楽しめました。



ノンアルコールカクテルやスープ、お酒などメニューが豊富な「かまくらBar」は大人気



スキー初体験の児童も多くいましたが、最後には上手に滑っていました

1/27-30

やぶまきち かわみなみちよう  
矢吹町・川南町の児童が冬の十和田市で友情を育む

## 日本三大開拓地小学生交流

日本三大開拓地として交流を行っている、福島県矢吹町と宮崎県川南町の児童39人が当市を訪れ、開拓の歴史を学んだ後、現代美術館で展示を見学、十和田湖温泉スキー場でスキー体験をするなど、本市の児童らと交流を深めました。

参加した児童はそれぞれ「スキーが楽しかった」や「友達がたくさんできて良かった」などと感想を述べ、冬の本市を満喫していました。



## 市役所代表

☎ 23 5111

FAX 22 5100

土・日曜日および祝日は閉庁

### ❖お知らせの表記

☎…問い合わせ先

申…申し込み先

※費用の記載がないものは無料です。

### 選挙人名簿の縦覧

3月2日に登録する十和田市選挙人名簿の縦覧を行います。

縦覧期間 3月3日(金)～7日(火)

午前8時30分～午後5時15分

縦覧場所 選挙管理委員会事務局

☎ 選挙管理委員会事務局

☎ 6778

### 社会資本総合整備計画の事後評価結果を公表します

平成27年度末で計画期間が終了した社会資本総合整備計画「十和田市における循環のみちの実現」、「十和田市の下水道における防災・安全対策の実現」について、事後評価を実施しましたので結果を公表します。

公表資料は、下水道課に備え付けてあるほか、市のホームページからも閲覧できます。

☎ 下水道課 ☎ 25 4015

## ■固定資産の縦覧・閲覧

☎ 税務課 ☎ 51 6768・☎ 51 6769

土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧と固定資産課税台帳の閲覧により、固定資産税の評価額などを比較や確認ができます。

区分	縦覧	閲覧
趣旨	固定資産税の納税者（固定資産税が課税されている人）は、自分の固定資産（土地・家屋）評価額について、評価が適正であるか、市内の他の固定資産評価額と比較することができます。	固定資産税の課税内容を固定資産課税台帳により確認することができます。
期間	4月3日(月)～5月31日(水) (土・日曜日、祝日を除く)	通年（土・日曜日、祝日および年末年始を除く） *平成29年度分は4月3日(月)から
縦覧および閲覧できる人、その際に必要なもの ※いずれの場合も本人確認ができるのが必要です。 (運転免許証など)	▶固定資産税の納税者本人、同一世帯家族、納税管理人  以下の人は所定のものが必要です ▶法人の代表者または委任状を受けた代理人 代表者印を押印した申請書または委任状	▶所有者本人、納税管理人  以下の人は所定のものが必要です ▶法人の代表者または委任状を受けた代理人 代表者印を押印した申請書または委任状 ▶借地人、借家人など 賃貸借契約書など ▶固定資産の処分をする権利を有する人 権利を証明する書類など
備考	土地のみ課税されている人は土地のみ、家屋のみ課税されている人は家屋のみ縦覧が可能です。	手数料 300円 ※縦覧期間中（4月3日(月)～5月31日(水)）は無料
受付時間および場所	▶受付時間 午前8時30分～午後4時30分	▶場所 本館1階税務課

## ■平成29年版 十和田市農地賃借料情報のお知らせ

☎ 農業委員会 ☎ 51 6740

平成28年1月1日から12月31日の間に賃貸借された農地の集計です。賃借料は、著しく低額や高額なものを除外しています。賃貸借契約の目安としてご利用ください。

(賃借料は円/10a当たり)

地域名	田				畑			
	平均額	最高額	最低額	筆数	平均額	最高額	最低額	筆数
大字深持、洞内、大沢田、馬洗場、立崎、八斗沢、豊ヶ岡	9,700	15,000	3,700	110	9,500	10,000	9,000	7
住居表示区域、大字三本木、赤沼、切田の一部(向切田)、相坂	10,300	15,000	3,100	222	8,600	12,000	4,100	21
大字切田(向切田を除く)、藤島、伝法寺、大不動、米田、滝沢	9,100	15,000	3,000	171	8,900	10,500	3,500	23
大字沢田、法量、奥瀬	8,900	11,700	4,900	216	9,000	10,000	7,900	5
市全体	9,600	15,000	3,000	719	8,900	12,000	3,500	56

**就学援助制度について**

経済的な理由により学用品などの負担が困難な保護者に援助します。対象 小・中学校に就学している児童・生徒の保護者で、生活保護を受けている人とそれに準じて生活が困窮している人

**申** 児童・生徒が在籍している学校  
**問** 教育総務課 ☎ 2305

**年金受給をあきらめていた皆さんへ**

年金を受け取るために必要な保険料納付済等期間が25年から10年に短縮されます。保険料納付済等期間が10年以上の人には2月末から7月までの期間に日本年金機構から年金請求書が順次送付される予定です。

年金請求書が届いた人は、年金事務所または市役所窓口で手続きをお願いします。

※国民年金の任意加入や後納制度により保険料納付済等期間を増やすことで10年を満たすことが可能となる場合があります。詳しくは、お問い合わせください。

**問** ねんきんダイヤル(ナビダイヤル)

☎ 0570・05・1165

八戸年金事務所

☎ 0178・44・1742

市民課 ☎ 6753

**市民税・県民税の申告はお早めに!**

市民税・県民税の申告期限は、3

月15日(水)です。例年期限間近になると会場が混雑しますので、早めに申告を済ませるようお願いいたします。

申告に必要な書類は、必ず整理・集計し、事業所得などのある人は、収支内訳書を作成の上持参してください。整理・集計・収支内訳書の作成をしていない人は、申告の受け付けはできませんのでご注意ください。

※3月5日(日)は申告相談を受け付けます。

**問** 税務課 ☎ 6766、☎ 6767

**宝くじ助成金で多文化共生事業に取り組みました**

NPO法人プロ・ワークス十和田が、(一財)自治総合センターの地域国際化推進助成事業を活用し、市内在住外国人が自国伝統料理などを紹介することで、自国の文化や考え方を共有する事業を実施しました。

**問** まちづくり支援課  
☎ 6725



**飲用井戸使用者の届出などについて**

飲み水として使用する井戸を設置している人や、設置しようとしている人は、個人、法人にかかわらず届出をしてください。

井戸水を飲用している場合は、年1回、水質基準項目に基づいた水質

検査を行うようお願いいたします。水質基準に適合していない場合は、直ちに市へ連絡してください。

**問** まちづくり支援課 ☎ 6726



**消防団員を募集します**

市消防団では市内に居住または勤務している18歳以上の心身共に健康な男女の団員を募集しています。

消防団は、火災や大規模な災害が発生したときに、地域に密着し、市民の安全・安心を守る役割を担う組織です。

また、市では消防団に1年以上継続して在籍した大学生などについて、地域社会への貢献を市が認証する「学生消防団活動認証制度」を平成29年1月1日より施行しています。

**申** 問 消防本部警防課消防団係  
☎ 4111

**奨学生募集**

経済的理由で修学が困難な人に学費の一部を貸し出します。

対象 次のすべてに該当する人  
▼保護者が市内に住所を有している人  
▼高校(高等専門学校を含む)、大学、短大に在学している人

※専門学校および大学院は除く。

▼学費の支払いが困難な人  
▼心身ともに健康で学業成績が優良な人

募集人員・貸与額(無利子)

▼高校(高等専門学校) 5人程度

月額1万5千円以内

▼大学・短大15人程度

月額6万4千円以内

提出書類 ▼奨学金貸与申請書 ▼成績証明書 ▼在学証明書 ▼保護者世帯の住民票謄本 ▼平成27年分所得

証明書(家族全員分) ▼連帯保証人2人の印鑑証明書

※世帯の状況などをお聞きします。

提出書類は直接持参してください。

※申請書は、教育総務課と市役所本館

1階会計係横のカウンターに備え付けています。また、市ホームページからもダウンロードできます。

奨学生の決定 選考委員会で審議の上、教育委員会決定します。

受付期間 4月3日(月)〜28日(金)

**申** 問 教育総務課 ☎ 2305

**十和田市シルバー人材センター**

「新年度会員」募集説明会

とき 3月17日(金) 午前10時〜正午

ところ 市民交流プラザ「トワール」

対象 原則60歳以上の人

申込期限 3月16日(木)

**申** 問 市シルバー人材センター

☎ 0222

23 広報 **とわだ** 2017年(平成29年)3月号

**統計調査員募集**

各種統計調査において、調査票の配布・回収・点検などを行う統計調査員を随時募集しています。  
対象 次の全てに該当する人

▼20歳以上の市内在住の人  
▼統計調査に関心があり、統計に関する研修などに参加できる人  
▼責任をもって調査事務を遂行し、調査で知り得た秘密を守れる人

▼税務、警察、選挙に直接関係のない人  
▼暴力団員その他の反社会的勢力に該当しない人

身分 調査実施の都度任命される非常勤の公務員  
報酬 調査に従事した場合は、調査ごとに報酬が支払われます。

登録 応募者を市が審査し、統計調査員として登録します。その後、各種統計調査が実施される前に、市から登録調査員に調査への従事を依頼します。

**申問** 政策財政課  
☎⑤6711



**市営放牧場への放牧牛の申し込み受け付け**

とき 3月6日(月)～8日(水)  
午前9時～午後3時

ところ 市役所新館3階会議室C  
持参する物 ▼放牧牛の登記・登録証の写し(新たに放牧する牛全

**頭分)▽印鑑**

聞き取りする内容 ▼人工授精希望  
精液名(1頭につき2種類まで)  
▽妊娠牛の受精月日▽子牛の性別、生年月日

**岡田代牧野畜産農業協同組合**  
☎⑦2690  
農林畜産課 ☎⑤6745

**青少年補導委員募集**

非行少年の早期発見、補導および指導・相談のため、月1回程度の街頭巡回などを行う青少年補導委員を募集します。

対象 次の全てに該当する人  
▼おおむね40歳以上の市内在住の人  
▼普通自動車の運転免許(AT車限定可)を有している人

▼青少年の健全育成に関心のある人  
定員 15人程度  
報酬 1回2400円  
申込期限 3月31日(金)  
**申問** まちづくり支援課 ☎⑤6777

**優良運転者表彰対象者募集**

対象 十和田地区交通安全協会会員で、無事故・無違反期間が5年から60年までの運転者(5年ごとに表彰)

申込期限 3月31日(金)  
(土・日曜日、祝日を除く)  
必要なもの 運転免許証、印鑑  
**申** 十和田地区交通安全協会または

**各支部**

**岡田代牧野地区交通安全協会**  
☎②20213

**平成29年度自衛官募集**

**申問** 自衛隊青森地方協力本部  
三沢募集案内所 ☎③1346

募集種目	予備自衛官補(一般公募)	予備自衛官補(技能公募)
応募資格	18歳以上 34歳未満の人	18歳以上で各種国家免許資格などを有する人(資格などの詳細はお問い合わせ下さい)
受付期限	4月7日(金)	
試験期日	4月15日(土)	
試験場所	別途各人に連絡します	

**十和田市青少年女発明クラブ員募集**

対象・活動内容・場所・定員  
▼ドリウム班 小学3・4年生(紙・科学工作「動くおもちゃ作り」など)

▼東公民館15人▼南公民館25人  
▼エジソン班 小学5年～中学3年生(木工、電気工作、ロボット製作など)▼南公民館40人

活動日時 主に日曜日(月2回)  
午前9時～正午  
申し込み方法 各学校を通して配布される申込用紙に必要事項を記入し、東公民館か南公民館に提出してください。

岡田総務課広報男女参画係 ☎⑤6702

【有料広告欄】

借金のご相談 無料 任意整理...1社2万5千円



**アカシアの森法律事務所**

青森県弁護士会所属 弁護士 今井 正

- ①大手消費者金融へ5年以上返済を続けている。
- ②金利が25パーセント前後だった。

上記①、②に該当した方は過払い金が戻ってくるかもしれません。貸金業者が倒産する前に、善は急げ! まずはお電話ください。

ご相談はお電話で  
ご予約ください。 ☎0176-51-4317

http://www.acacia-forest.jp アカシアの森法律事務所 検索

〒034-0082 青森県十和田市西二番町8-4 (十和田市現代美術館駐車場隣)



**《お気軽にご相談ください》**

弁護士法人 青空と大地

(青森県弁護士会所属)

代表弁護士 橋本明広

十和田市西三番町1番42号 NTT十和田ビル2階

**取扱業務**

民事全般、不動産、離婚、相続、成年後見、債務整理、会社関係、刑事(上記以外の事件も取り扱っています。)

相談料 初回60分 5,000円(税別)

(個人の多重債務相談は無料です。)

相談は電話又は来所による予約制です。

☎0176 (21) 5162 (受付時間 平日9時～17時30分)  
http://www.aozora-daichi.com

申込期間 3月18日(土)～4月2日(日)  
**申岡東公民館** ☎249000  
 南公民館 ☎24416

**十和田市青少年少女発明クラブ指導補助員募集**

指導日 主に日曜日  
 午前9時～正午 年4～5回  
 報酬 1回3500円  
**申岡南公民館** ☎24416

**東公民館「若者の拠点づくり支援事業」を利用する若者グループ募集**

東公民館では20代から30代が中心となって活動するグループを支援します。本事業を利用する若者グループは全額減免(東公民館使用料・冷暖房使用料・備品使用料)などの支援が受けられます。  
**申岡東公民館** ☎249000

**スポーツ教室参加者募集**

**リズム&フィットネス教室**  
 とき 4月10日～9月11日の毎週月曜日(第1週と祝日を除く) ①午後2時～3時30分 ②午後7時～8時30分 ①、②いずれか

対象 18歳以上の市民  
 定員 ①、②各50人(先着順)  
 内容 エアロビクス

申込期間 3月21日(火)～4月5日(水)  
**リフレッシュスポーツ教室**  
 とき 4月19日～7月19日の毎週水

曜日 ①午前10時～正午 ②午後1時30分～3時30分 ①、②いずれか  
 対象 ①18歳以上の市民  
 ②シニア女性(おおむね60歳以上)

定員 ①、②各35人(先着順)  
 内容 いろいろな軽スポーツ  
 申込期間 3月24日(金)～4月13日(木)  
**◆いずれも**

ところ 市総合体育センター  
 費用 65歳未満2500円、65歳以上1800円(保険料含む)  
**申岡市総合体育センター**  
 ☎255555

**「ふれあい・いきいきサロン事業」新規取り組み地域の募集**

高齢者や協力者が地域の集会所などに集まり、仲間づくりや健康増進、閉じこもり防止などを目的とした「サロン」を、新規に実施する地域(町内会や集会所単位など)を募集します。

募集期間 3月1日(水)～31日(金)  
 募集地域数 1～2地域程度  
 助成額 年間5万円  
 指定期間 3年間  
**申岡市社会福祉協議会** ☎232992

**2017異業種名刺交歓会参加者募集**

名刺交歓会のほか、特別講演として少子高齢化時代に対応した働き方・マネジメントについての講演会を同時開催します。

とき 3月10日(金) 午後7時～10時  
 ところ サン・ロイヤルとわだ  
 対象 会社経営者・企業所属の幹部職員・管理職(業種問わず)

定員 100人(先着順)  
 費用 5千円(飲食代込)  
 持ち物 名刺

申込期限 3月6日(月)  
 特別講演講師

NPO法人ファザリングジャパン  
 安藤哲也さん

**申岡(公社)** 十和田青年会議所  
 ☎231958 FAX 24464  
 メール info@towada-jc.com



**猫について学ぶ出張講座「ねごと上手に暮らすために」**

青森県動物愛護センターでは、猫に係る苦情の減少、猫の致死処分頭数減少を目的として、猫の生態と猫に係るトラブルやトラブル回避の方法などについて、センターの獣医師が講師を務める出張講座を行います。

とき 3月11日(土)  
 午後1時30分～3時30分

ところ 東公民館  
 定員 60人(先着順)

※事前申し込みは不要です。  
 岡まちづくり支援課 ☎6777

【有料広告欄】

岡総務課広報男女参画係 ☎6702

モデルハウス7周年記念感謝祭 **自然と暮らしinいわきの家** 3/26日 9時～15時



**催し物**

- 耳つぼジュエリー ●占い
- アロマハンドマッサージ
- 包丁研ぎサービス
- ホタテ釣り堀[無料開放]
- 木工品作成コーナー
- 射的 ●フリーマーケット
- めめさんベンチャーズ生演奏

**「なべっこだんご」お振舞い**

**展示&販売**

- おしゃれな雑貨・アクセサリー
- 昔ながらの駄菓子 ●手づくりマフィン
- 各種生地端切れ
- こけ玉・ひょうたんランプ
- 南部裂織 ●十和田石
- 未来の住まい「墓石」
- 木の手作りおもちゃ
- 山菜・野菜・コンカツサンド
- フラワーアレンジメント ●椎茸

**商品紹介!**

- 最新ガスコンロ[ササキ石油]
- 十和田で生まれた杉の皮の舗装 庭の除草対策に[スギロード]

**展示・体験教室**

- パッチワーク教室 ●押し花教室
- 住宅相談コーナー
- 光るどろだんごづくり

**十和田ふあみりーず全員集合!**

**会場**  
 ●パチンコダイナム様  
 国道4号バイパス  
 ●マクドナルド様



岩木建設 十和田市洞内字戸頭175-1 TEL.27-2906 http://www.iwakinoie.co.jp

## 企画展 「村上隆のスーパーフラット現代陶芸考」

アーティストとしてだけでなく、コレクターとしての顔を持つ村上隆。近年特に興味を持っているのが日本の現代陶芸です。本展では、村上コレクションから現代陶芸作家と現代美術作家による陶芸作品など、28作家、約300点を展示します。

とき 3月11日(土)～5月28日(日)  
 観覧料 企画展+常設展セット券 1,000円。企画展のみの場合600円。  
 団体(20人以上)100円引き。高校生以下無料。

### 関連イベント

- ① オープニング・トーク  
 とき 3月11日(土) 午前10時30分～午後4時30分(予定)  
 ※事前予約した人を優先します。
- ② 学芸員によるギャラリートークツアー  
 とき 3月25日(土)、26日(日) 午後1時30分～3時  
 ※関連イベントはいずれも企画展のチケットが必要です。



Photo by Mikiya Takimoto

## 十和田奥入瀬プロジェクト

まちなか美術館  
 「東の熊、青い森の幽霊」

商店街の一角に期間限定の「まちなか美術館」が開館します。アーティスト大久保ありさんが、写真、映像、オブジェなどを用いた空間をつくり出します。  
 とき 3月3日(金)～26日(日) 午前9時～午後5時  
 (入館は閉館の15分前まで)  
 ところ 旧エースカメラ店舗(稲生町16-55)

■ 関連イベント (自分だけの世界を箱庭でつくろう)  
 自分の心に浮かぶ世界を、家や木、石やミニチュアの模型などを自由に並べて、箱の中に表現しましょう。  
 とき 3月26日(日) 午後1時～3時  
 ところ 現代美術館  
 対象 小学生以上(小学生以下は保護者同伴で可)  
 講師 大久保ありさん 定員 12人(先着順)  
 費用 500円(材料費) 申込期限 3月20日(月)

美術館で学ぼう  
 ラーニング・プログラム

■ 親子のためのスクール「いたずら研究」  
 いつもは想像だけで実現しなかった「いたずら」を簡単に誰にでもできる電子工作で表現し、形にします。  
 とき 3月19日(日) 午後1時～5時  
 ところ 現代美術館 対象 小学3年生以上  
 講師 CANVAS (熊井晃史さん・寺田篤生さん)  
 定員 20人(先着順) 申込期限 3月17日(金)

※電話、FAX かメールのいずれかで申し込みしてください。

〒現代美術館 ☎ 1127 FAX 1138  
 メール info@towadaartcenter.com

## 3月10日(金)は、現代美術館常設展市民無料デーです。

マイナンバーカード、免許証や保険証など住所が確認できるものを受け付けに提示してください。

【有料広告欄】

〒総務課広報男女参画係 ☎ 6702

**社会福祉法人 福祉の里**

老人保健施設 **みのり苑**



〒034-0061  
 十和田市大字切田字横道100-22  
 TEL 0176-25-1100 / FAX 25-1115

ケアハウスポナール十和田



〒034-0089  
 十和田市西二十三番町30-36  
 TEL 0176-22-2211 / FAX 22-5621

福祉の里 アネックス元町



〒034-0002  
 十和田市元町西一丁目13-36  
 TEL 0176-21-1888 / FAX 21-1880

福祉の里では、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士などの数多くの専門職が働いています。





**とわだ産品を使った新商品をお披露目します**

「買ってもらえる商品づくり支援事業」を活用して、新たに誕生した商品や改良された商品の紹介をします。試食あり（無くなり次第終了）。  
とき 3月24日(金)  
午後1時30分～2時30分

ところ 市民交流プラザ「トワレ」  
とわだ産品販売戦略課

☎6746

**ゼルコバアンサンブルコンサート**

とき 3月19日(日)

午後1時30分開場 午後2時開演

ところ 市民文化センター

出演者 高橋幸男(チェロ)、石川

泉(ヴァイオリン)、藤原つや子(フルート)、今田文子(ピアノ)

演奏曲 「情熱大陸」、「真田丸のメ

インテーマ」ほか

ところ スポーツ・生涯学習課

☎2313



**市民の広場**

市民の皆さんが行う催しの紹介、サークルなどの会員募集のコーナーです。**費用の記載がないものは無料**です。掲載希望のかたは市ホームページをご覧ください。

**十和田セライオFC 会員募集**

① サッカースクール (小学2年生以下)  
とき・ところ

4月9日～毎週日曜日

午前9時～11時30分

ちとせ小学校グラウンド他

費用 月額500円(保険料込み)

② キッズ (5歳～小学2年生)

③ U-12 (小学3～6年生)

④ U-15 (中学1～中学3年生)

⑤ 女子 (5歳～中学3年生)

とき 毎週火・木・金曜日

午後6時～8時30分

ところ 若葉球技場

費用 月額1,000～4,000円

入会時2,000～5,000円(別途保険料・登録費)

※ボールは持参してください。申し込みは練習会場でも随時受け付けています。

※クラブ入会説明会を3月16日(木)の午後7時から市総合体育センターの研修室で行います。

☎ 申問事務局・伊藤 090-4314-3376

・尾崎 090-1496-4259

メール celaiio-fc@outlook.jp

**十和田市子ども劇団 一日入団生募集**

演劇に興味のある人、演技・ダンス・歌などの指導を受けながら団員として一日体験をしてみませんか。

とき 3月12日(日)

午前9時30分～正午

(午前9時15分から受け付け)

ところ 南公民館

対象 小学1年生～6年生

※保護者同伴でお越し下さい。

※動きやすい服装でお越しください。

☎ 申問 十和田市子ども劇団・大久保

080-1834-5134

**親子で体験! ガールスカウト**

「ガールスカウトってなあに? 聞いたことあるけど…」と思っている人に活動を楽しく紹介します。親子でガールスカウト体験(防災対策・クラフト・おやつ作りなど)をしてみましょう。

とき 3月12日(日)

午前9時15分～午後2時30分

(都合のよい時間にお越し下さい。)

ところ 市民交流プラザ「トワレ」

対象 幼児(年中)～小学生(女)

※保護者同伴でお越し下さい。

☎ 申問 ガールスカウト青森県第10団

・岩間 ☎ 23 5131

**空手道無料体験教室**

「心と身体を鍛える」事を目標に、武道である空手道の動きを楽しく体験できます。道場では、特に礼節を重んじており、技術指導だけでなく、青少年育成に取り組んでいます。

とき 3月の毎週金曜日 午後7時～8時

ところ 志道館

対象 5歳以上

※動きやすい服装でおいでください。

☎ 申問 沖縄空手道剛柔流尚礼会東北本部道場・菅野 ☎ 23 0933

**【有料広告欄】**

☎ 6702 関係総務課

**YOTUBA よつ葉** 株式会社エパーグリーン 複合型介護施設 よつ葉

十和田市東十一番町23-35 TEL:0176-58-5757 (代)

café フォーリーフ 3月イベント

3/13 (月) 10:00～ スクラップブックング ¥1,800 ランチ込

3/15 (水) 10:00～ ベビーマッサージ 1,500円 ケーキセット付

★いつものお出かけセット、バスタオル一枚 赤ちゃんの飲みもの(母乳、ミルク、お茶等) ママに愛情を持ってふれられた赤ちゃんは、気持ちよくなりニコニコ♡

**メディカルフィットネスよつば**

3月・4月入会の方 **入会金¥5,000無料!!**

トレーニングジム & スタジオレッスン & お風呂

営業時間内でしたらいつでもご利用いただけます

月～金 16:00～21:00  
土 9:00～21:00  
日曜 定休日

コース	入会金	月会費
一般コース	¥5,000	¥5,000
メディカルコース		¥4,000
ファミリーリーダー		¥5,000
ファミリーメンバー		¥4,000
学生コース		¥4,000
マシン1時間		¥500
お試しコース		¥3,000

お試しコース(お一人様一回限り)1ヶ月3回利用可能

# 3月の市民無料相談

内容	日時
◆行政相談 行政機関などの業務に対する苦情、意見、要望などの相談	6日(月) 6日は十和田湖支所同時開催 午後1時～3時
◆人権相談 いじめや差別、家庭内や隣近所とのめもめことなどの相談	10日(金)・24日(金) 午後1時～3時
◆法律相談(定員7人) 相続、離婚、借金などの相談	22日(水) 午後1時～4時 ※15日(水)午前8時30分から予約開始
◆司法書士相談(定員4人) 登記、相続、借金などの相談	16日(木) 午後1時～3時 ※9日(木)午前8時30分から予約開始
◆不動産相談(定員4人) 不動産の売買、不動産の賃貸借などの相談	9日(木) 午後1時～3時 ※2日(木)までに要予約
◆くらしとお金の相談 多重債務、生活資金などの相談	8日(水) 午前10時～午後4時 ※前日までに要予約
◆法テラス青森(法律相談) 借金・離婚・労働問題などの相談 ※資力基準に該当するかた	14日(火)・28日(火) 午後1時～4時 ※予約先☎050-3383-5552
◆消費生活相談 悪質商法、架空請求、製品事故などの消費生活の相談	毎週月～金曜日 午前8時30分～午後4時30分 ※相談前に要予約
◆交通事故相談 交通事故による損害賠償、示談などの相談	21日(火) (予約があった場合に開催) ※予約先県庁☎017-734-9235

ところ まちづくり支援課市民相談室  
申問まちづくり支援課☎⑤6777

内容	日時
◆市税夜間納付・相談窓口	1日(水)～3日(金) 6日(月)～10日(金) 27日(月)～31日(金)

とき 午後5時30分～8時 ところ 収納課  
※本館北側職員通用口からお入りください(午後6時以降は本館正面玄関からは入れません)  
問収納課☎⑤6760

内容	日時
◆出張年金相談 年金の無料相談	24日(金)※要予約 (予約があった場合に開催) ※予約先八戸年金事務所 ☎0178-43-7368

とき 午前10時～午後3時 ところ 新館3階会議室A  
問八戸年金事務所☎0178 ④7368 市民課☎⑤6753

**3月31日(金)が納期限です**  
市税等は納期限内に納めましょう  
介護保険料随時第1期

## 休日当番医 ☎健康増進課 ☎⑤6790

5日(日)	育成会内科小児科☎②5558
12日(日)	十和田外科内科☎②5151
19日(日)	えと内科医院☎③2727
20日(月)	十和田北クリニック☎②3741
26日(日)	十和田産婦人科内科クリニック☎③7777

## 人口と世帯 平成29年1月末現在 ※( )内は前月比

■人口/62,943人(-15人) 男/30,148人(-6人) 女/32,795人(-9人)  
■世帯数/27,401世帯(6世帯)

## information

## その他の催し <>…開始時間

1(水)	▶十和田切り絵愛好会「楽しい切り絵」 ～市民文化センター・市民ギャラリー (問十和田切り絵愛好会・中村☎③8516) (～30日)
4(土)	▶紙しばい倶楽部とわだ <10:30>～市民図書館 (問市民図書館☎③7808)
5(日)	▶第55回十和田市素人防犯演芸大会 <9:30>～市民文化センター (前売り1,000円(当日100円増)) (問市防犯協会☎⑤6783)
10(金)	▶おしゃべりサロン「クローバー」<①10:00・②13:30> ～保健センター(問傾聴サロンとわだ・黒子☎090-2796-0999)
11(土)	▶話しのサロン・こころの広場ルピナス<10:00> ～勤労青少年ホーム(問健康増進課☎⑤6791) (25日も開催) ▶語りの会・こま草「おはなしのゆうびんやさん」 <①10:30・②14:00>～市民図書館 (問市民図書館☎③7808) (25日も開催) ▶春のよみうり芸能祭「落語寄席&民謡」<13:30> ～市民文化センター(入場料1,500円) (問読売センター十和田販売店☎③2079)
18(土)	▶わっこの会「読み聞かせ」<10:30>～市民図書館 (問市民図書館☎③7808)
19(日)	▶スプリングコンサート2017<14:00>～市民文化センター (問三本木高等学校☎③4181) ▶十和田チャーチル会・絵画こう会第24回合同美術展 <10:00>～市民文化センター (問十和田チャーチル会・石田☎②1971) (～21日)
25(土)	▶ピアノニッシモの会 ピアノ発表会<13:00> ～市民文化センター(問ピアノニッシモの会☎090-7068-2176)
26(日)	▶～今ここに若き華たちが舞咲く～ はなぐみ チャリティー公演「華成組」 <11:00>～市民文化センター (前売り:指定席2,500円、一般席2,000円(当日500円増)) (問NPO東北新舞踊民俗芸能協会事務局・舞扇☎④1786)
27(月)	▶プラネタリウム春休み平日投影<①11:00・②15:00> ～市民文化センター(～4月6日)

## 日本農業気象学会 2017年全国大会 公開シンポジウム

北東北における過去100年間の気候変化と21世紀末の気象予測を踏まえつつ、北東北農業の基幹である水稲栽培・リンゴ栽培ならびに畜産について、不利な気象条件を克服してきた歴史や、既に顕在化している気候変動の影響ならびに適応策などを紹介し、北東北の農業の未来について議論します。

◆とき 3月29日(水) 午後2時45分～5時45分  
◆ところ 北里大学獣医学部 本館B棟B11講義室  
※聴講は無料で、事前申し込みは不要です。

問日本農業気象学会 2017年全国大会実行委員会・皆川  
☎③4371(内線474)



～今日も無事でいてほしい～  
みんなで作ろう安全・安心なまち  
セーフコミュニティ十和田

